



地域の人に見守られ登校する児童

第2回定例会

平成29年第2回定例会は、6月9日に開会し、平成29年度門真市一般会計補正予算（第2号）など、市長提提議案17件、議員提出議案2件について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決、承認並びに同意し、6月22日に閉会しました。

子どもの未来応援ネットワーク事業 含む補正予算など19議案を可決

29年度補正予算（1） （一般会計補正予算（第2号））

（議決結果） 全員異議なく可決

（文教子ども常任委員会審査概要）

子どもの未来応援事業

29年10月を目途にスタート

（議決結果） 全員異議なく可決

（文教子ども常任委員会審査概要）

29年4月に府のモデル事業実施希望の照会があり、子どもの貧困対策を行っていく上で、有益な施策になると判断し、府に事業案を提出した。その後、本市のみ、実施することになった。

（議決結果） 全員異議なく可決

（文教子ども常任委員会審査概要）

同事業は支援を要する子どもや保護者の発見から支援の実施見守りまでをトータルでサポートするネットワークの構築とともに、市民及び地域団体にも参画してもらい、子どもへの関心を高め、支援活動等を活発化させ、子どもの育成を担う地域力の底上げを図るものである。

（議決結果） 全員異議なく可決

（文教子ども常任委員会審査概要）

市民には子どもの未来応援員に登録してもらい、地域で支援の必要な子どもを発見した場合は、子どもの未来応援チームに連絡してもらう。

同チームは、子どもの未来応援

援コーディネーター1人、子どもの未来応援推進員12人で構成し、同応援員等からの連絡を受け、必要な調査等を行った上で、スクリーニングを行い、関係者会議において対応を検討し、関係部署と連携しつつ、伴走型支援につなげるものである。

なお、同事業は29年10月からの実施に向け、鋭意準備を進めていくことを考えている。

（議決結果） 全員異議なく可決

（文教子ども常任委員会審査概要）

子どもの未来応援コーディネーターは、子どもの未来応援推進員の活動の調整などチームの中心的な役割を担う。

また、子どもの未来応援推進員は、地域ボランティアで構成する子どもの未来応援員からの情報をもとに地域に出向くなど、詳細な調整を行うとともに、対象者に直接的な支援を行いつつ、学校との連携を図る役割も担う。

最後に、子どもの未来応援ネットワークアドバイザーは、子どもの未来応援員の研修内容や、チーム会議の運用に向けた助言、関係者会議への出席や本事業の報告書の作成にもかわかる。

（議決結果） 全員異議なく可決

（文教子ども常任委員会審査概要）

もくじ

- 議案審議等の概要 1～3ページ
 - ・一般会計補正予算（1）
 - ・一般会計補正予算（2）、門真市営住宅条例の一部改正、人事案件など
 - ・決議、意見書など
- 一般質問 3～7ページ
- 議決結果、議会活動日誌 8ページ

明の上、協力要請し、さらに広報紙やホームページなどにより多くの市民参加を呼びかける。

また、同応援員は中学校区で100人、市内で約600人を想定している。事業開始前には市内を南北に分けて2回、29年11・12月に各1回の研修を予定し、子どもの貧困の現状や活動内容等を説明していきたい。

（議決結果） 全員異議なく可決

（文教子ども常任委員会審査概要）

事業期間は1年の予定であり、終期は30年夏ごろとなる。その後は、事業の効果を見きわめつつ、継続の必要性や継続する際の実施方法の見直し等を考える。

（その他の質疑）
・29年度の待機児童対策
・上野口保育園舎耐震補強工事の概要とスケジュール など

29年度補正予算(2)

(一般会計補正予算(第2号))

(総務建設常任委員会審査概要)

ふるさと納税の業務を委託し、リニューアル

問 委託する業務の内容は。

答 返礼品のリニューアル、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載、クレジットカード決済やインターネット上での申込受付の導入、申込対応、返礼品発送管理や問い合わせの対応等である。

問 29年4月の総務大臣通知の内容は。また、同通知を本市はどう受けとめているのか。

答 同通知は金銭類似性や資産性の高い物等を送付しないことや寄附額に対する返礼品調達価格を3割以下とすること等を求めている。

本市としては、返礼品の内容には問題ないと考え、リニューアルに際しても通知の趣旨を踏まえ対応していく。

問 ふるさと納税のリニューアルをどのように進めるのか。

答 ふるさと納税業務支援事業者の特性や他市実績等を踏まえて事業者を選定した後、29年9月ごろを目途に市内事業者に返礼

品のリニューアルの説明会を開催し、ウェブページの作成等を進め、ふるさと納税の申し込みが集中する12月までにリニューアルを考えている。

(民生常任委員会審査概要)

一般ごみ収集運搬の委託を拡大

問 今回の民間委託の経緯は。

答 29年度当初の現業職員の欠員は、3人と予測していたが、4人が人事異動となり、現在は7人の非常勤嘱託職員等で対応している。

3人1台の体制で非常勤嘱託職員等が対応の場合は、運転手と作業員1人は正規職員、残り1人は、非常勤嘱託職員等で行っている。

恒常的な安全性の確保と職員の負担軽減のため、欠員が6人以上となれば、委託を行うため、新たに2台分を計上した。



一般ごみを収集運搬する委託車両

市営住宅の管理に指定管理者制度導入へ

門真市営住宅条例の一部改正に

ついては、市営住宅及び共同施設の管理を指定管理者に行わせるとともに、市営住宅の明渡請求の要件の見直しなどを行うものです。

(議決結果) 反対討論の後、賛成多数で可決

(総務建設常任委員会審査概要)

問 市営住宅の管理業務を指定管理者が行うメリットは。

答 指定管理者制度の導入は、住民サービスの向上等を目的としているため、デメリットはないと考えている。主なメリットとして市役所の業務時間外を含め、24時間365日体制で漏水トラブルなどの修繕要望に対応可能となること、単身高齢者の見守りサービスなどを含めた事業者による住民サービスの提案が受けられることなどが挙げられる。

問 指定管理者の具体的な業務は。

答 指定管理者の主な業務は、入居者の募集や入居退去の手続に関する補助業務、家賃等の決定・収納等に関する補助業務、施設の維持修繕・保守点検、駐車場の管理、入居者からの苦情・通報・相談対応業務等となる。

なお、空き家募集の実施決

定、入居者や同居者の決定、家賃決定、国・府への許可申請、補助金申請業務や建てかえなどの業務は、引き続き本市が行う。



指定管理者が管理する予定の市営住宅(市内3カ所)

問 明け渡し請求に係る第33条の条文を改正する趣旨は。

答 現在、規定している第1項第2号「他に住宅を取得し生活の本拠を移したとき」では二つ条件を満たした場合に適用可能な条文であり、住宅困窮者に提供する公営住宅の趣旨を鑑み、より明渡請求の実効性を持つものとするため、第3号で「他に住宅を取得等したとき」、第4号で「他に生活の本拠を移したとき」としたものである。

さらに他の事業主体の条例を参考とし、第2号、第5号を規定し、不正な居住実態がある場合に適切な明渡請求ができるよう規定整備したものである。

(その他の質疑)
・市営住宅の指定管理者に係る外部委員による評価委員会の設置の有無 など

人事案件に同意

農業委員会委員の任命

門真市三ツ島1丁目15番14号

なかのとしすけ
中野 利佑

門真市三ツ島2丁目12番1号

かわたみきお
川田 幹男

門真市北島町13番5号

なかにしまさのり
中西 正憲

門真市打越町1番24号

なかによしゆき
中道 善之

門真市大字桑才82番地

なかいえつお
中井 悦夫

門真市東本町9番6号

かわなかせいほ
川中 青穂

門真市上島町5番5号

かわはたよしなお
川畑 嘉直

門真市柳田町9番28-1302号

きはらさちこ
木原 早智子

門真市小路町23番2号

やまもとひろたか
山本 博崇

以上9件は、農業協同組合法等の一部を改正する等の法律による農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、提案されたもので、いずれも任命に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

門真市柳田町3番22号

きもとけんじ
木本 健司

本件は、同委員の任期が29年7月27日をもって満了することに伴い、提案されたもので、選任に同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

門真市千石東町3番43-402号

もりいちまさと
盛一 正人

本件は、同委員の任期が29年12月31日をもって満了することに伴い、提案されたもので、推薦に同意しました。

政務活動費

収支報告書等の公開

本市議会議員の28年度政務活動費収支報告書及び領収書等の写しを、29年7月から公開しています。

なお、閲覧される際に申し込みなどの手続は必要ありません。

閲覧場所

情報コーナー(市役所別館1階)

閲覧時間

月曜日・金曜日(閉庁日は除く)午前9時〜午後5時30分

※市議会ホームページでは、収支報告書の写しを閲覧することができます。

「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集めることで、解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。

先日、政府において、閣議了解が行われ、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした国際博覧会の開催についての書簡をB I E（博覧会国際事務局）へ提出し、立候補が行われたところである。

国際博覧会の大阪での開催は、古くから、人々の英知により新たな技術を生み出し、文化・産業の両面から国内外をリードしてきた大阪から、世界中の人々の健康に係るさまざまな課題を克服し、人類の未来に向けてよりよい生活を送ることができる新しいモデルを提案することや、それを広く世界に発信するという点において、大変意義がある。

また、新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて大阪の存在感を示す絶好の機会にもなり、市民の健康増進や地域の振興にも寄与するなど、都市の活性化、市民生活の向上も期待できる。

そこで、門真市議会としては、大阪での国際博覧会開催の意義に賛同するものであり、国際博覧会の誘致・実現に向け、大阪府・大阪市や経済界とともに、積極的に取り組むこととする。

以上、決議する。

※本案は、反対の討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

看護職員の事務作業の効率化のための
制度改善を求める意見書

我が国では、世界に例のない超高齢社会を迎えようとしている。

特に、がん・心疾患・脳卒中などの生活習慣病や、認知症を抱える高齢者が増加し、医療や介護の需要が爆発的に増大することが、予想されている。

このような状況に対応するため、医師、看護職員などの、医療に携わる専門職は、国民の生命、健康、生活を支えるという使命感を持って、医療・介護に取り組まなければならない。

一方で、医師、看護職員等は患者の診療に当たり、法令等に基づき、診療内容や指導内容を記録することが義務づけられている。その結果「医師が診察時にコンピューターの端末ばかり見て患者の顔を見ない」と言われる状況があるが、医師の負担は、医師事務作業補助者を置くことが診療報酬上も評価されるようになったことから、減少しつつある。

また、看護職員においても、看護記録だけでなく、入院時、手術・検査時に必要な同意書・説明書の確認等、事務的な作業が増加し、業務がより多忙になっている。

厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会の診療報酬改定結果検証部会が平成26年度に実施した「チーム医療の推進等を含む医療従事者の負担軽減措置の実施状況調査」報告では、看護職員の負担軽減策として、病棟クラークの配置、薬剤師の病棟配置、MSW（医療ソーシャルワーカー）との業務分担等が挙げられており、業務分担の推進は着実に進められている。

平成28年度診療報酬改定では、看護職員が、専門性の高い業務に、より集中することができるよう、病棟内において、看護職員が行う書類・伝票の整理・作成の代行、診療録の準備等の事務作業を行う看護補助者の病棟配置が認められた。

しかし、患者が入院し、退院される一連の経過の中で、多岐にわたる書類作成が必要になっていること自体を根本的に見直す必要がある。これは制度的な問題である。

よって政府においては、国民の生命、健康、生活を支える看護職員の使命に鑑み、書類の簡素化など事務作業の効率化につながる制度改善や看護師不足の抜本的解決に向けての処遇改善を図られたい。

※本市議会では、この意見書を可決し、直ちに政府関係機関等に送付して内容の実現を求めました。

永年勤続の2議員へ表彰状を伝達

表彰状伝達の様子



去る5月24日に開催された第93回全国市議会議長会定期総会において永年勤続議員の表彰が行われ、本市議会からも（10年表彰）
土山 重樹 議員
中道 茂 議員
が表彰の栄誉に浴しました。
本市議会では6月9日の定例会の開会に先立ち、表彰状の伝達を行い、満場の拍手でその栄誉をたたえ、また宮本市長からお祝いの言葉がありました。
これに対し、被表彰者を代表して土山議員から謝辞が述べられました。

シティプロモーションについて
問 住宅購入時の固定資産税の減免やそれに相当する補助金制度の導入など地元金融機関と連携した住宅ローン金利優遇制度等を導入すれば、担税力のある世帯の定住につながると考えるが、市の見解は。
答 若い世代・子育て世帯の移住・定住促進は、安定的な市政運営上極めて重要であるため、有効な施策の一つと考える。既に実施の施策を推進しつつ、新たな施策にも取り組んでいきたい。

岡本 宗城
(公明党)

大阪モノレールの南伸について
問 松生町パナソニック用地の開発において、中間駅の設定及び周辺整備は、人口流入の好循環につながるものと考えている。今後は、府、大阪高速鉄道、三井不動産や守口市等へ働きかけて進めるべきと考えるが、市の見解は。
答 同開発は新たなまちの起爆剤となり、地域経済の活性化にもつながるため、既存計画との整合性を図り、検討する必要がある。三井不動産から具体的土地利用計画等が示されるなど中間駅の必要性の検証ができる状況になれば、関係機関と意見交換を重ね、時期を見きわめて判断したい。



一般質問

6月21日、22日の本会議において、18名の議員が市政に対する質問を行いました。

主な質問と答弁の要旨を3面から6面に掲載しています。（通告順）

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページ（<http://www.city.kadoma.osaka.jp/shigikai/>）内の会議録検索及び各議員のホームページをごらんください。
※第2回定例会（29年6月）の会議録は9月初旬に掲載する予定です。

市議会ホームページでは、
本会議録画中継を閲覧できます。

門真市議会インターネット中継

検索





松本 京子
(公明党)

本市の魅力発信について

問 市ホームページのスマホ版導入は、市のサービス向上につながるものと考えているが、市の見解は。

答 スマホによる市ホームページへのアクセスはパソコンとほぼ同等で、北河内でもスマホ版を導入している市が多く、その必要性は認識している。しかし、導入には相当の費用が見込まれるため、財政状況を見きわめつつ、現在検討中のホームページのリニューアルに合わせて課題解決を図っていく。

問 ご当地マンホールカードの導



春田 清子
(公明党)

市立総合体育館の利用について

問 同体育館は文化振興等に寄与することも大切と思うが、大規模改修を行うルミエールホールの補完施設として、講演会や文化芸術等のイベントを実施できないか。

答 市立総合体育館条例第10条において、設置目的以外の利用について、設置目的を妨げない限りにおいて認めることとしているが、今後は、スポーツの利用状況を注視しつつ、目的外利用の方策等について、調査・研究していきたい。

問 同体育館は災害応急対策の活



高橋 嘉子
(公明党)

待機児童の解消について

問 都市公園法の改正により、待機児童の受け皿として保育所を公園内に設置する動きが全国的に活発であるが、市の見解は。

答 保育の受け皿を拡充していく上で、土地の確保が困難な中、全国的に広がりを見せている市庁舎や学校の余裕教室、公営団地の空き室、商店街の空き店舗の活用等とあわせ、一般の法改正を踏まえた都市公園内の保育所も有効な手だての一つと認識している。



内海 武寿
(公明党)

旧青少年活動センター跡地の有効活用について

問 入札不調となった沖小東側の同跡地について、今後の入札に向け、土地利用条件など入札実施要領を変更する予定はあるのか。

答 同跡地は、28年2月19日に一般競争入札を実施して売却予定であったが、入札参加者がなく、流会という結果となった。
分析の結果、一戸建て専用住宅で、敷地面積が120㎡以上などの厳しい土地利用条件が不調の原因と考えており、同跡地地域の用

学校教員の働き方改革について

問 多くの教員が過重労働に陥っている実態を受け、その負担軽減のため、学校や教員を地域社会で支えるべきと考えるが、市の見解は。

答 多様な専門スタッフや外部人材を活用し、さまざまな業務を連携・分担してチームとして職務を担うことなど、一人一人の子どもに応じたきめ細やかな教育の実現を目指すとともに、学校教員のサポート体制を構築することで「働き方改革」につなげていく。



武田 朋久
(公明党)

高齢者施策の拡充について

問 リスクの高い高齢者の自転車の運転と市民意識調査による生活道路整備の満足度の低さをあわせて考えると、道路の加速度的な整備が喫緊の課題であり、道路整備の総合的な改善計画を策定し、実行すべきと考えるが、市の見解は。

答 生活道路の改善の必要性は認識しており、高齢者等の交通弱者が安全に通行できる空間を確保することは重要であると考えている。さまざまな人が安全に安心して移動できるよう、本市の道路全体を



サロン前の公園

市議会の傍聴にお越しください

■平成29年第3回定例会の開催予定 (日程は都合により変更となる場合あり)

9月	8日(金)	午前10時から 本会議終了後	本会議 決算特別委員会
	11日(月)	午前10時から	総務建設常任委員会
	12日(火)		民生常任委員会
	13日(水)		文教こども常任委員会
	21日(木)		本会議(一般質問)
	22日(金)		本会議(一般質問)

○傍聴の受付など (誰でも無料で傍聴可能)

	本会議	常任委員会
受付時間	開催予定時刻の30分前から	
受付場所	市役所本館1階議場前	市役所本館4階議会事務局
定員 (先着順)	一般席32人 車椅子使用者席3人	10人

○議案書の無償提供

定例会の最終日終了後、議場前にて議案書の無償提供 (先着10人、1人1部) を行っていますので、ご希望の方は受付担当者まで、お申し出ください。



今田 哲哉
(緑風クラブ)

市の職員数について

問 基本定数と実際の職員数との差はどれくらいあるのか。

答 29年4月1日現在、基本定数725人に対し、32人不足が生じ、差は再任用職員等で補っている。

問 基本定数との差をなくするための職員採用についての考えは。

答 第3次定員適正化計画では、36年度に定数との差が解消される予定である。現在、新たな取り組みとして10月採用の社会人採用試験を実施しており、今後も雇用情勢等を見きわめ、早期の定員不足



五味 聖二
(緑風クラブ)

新総合体育館の観覧席について

問 新総合体育館の観覧席は、長時間のスポーツ観戦に不向きで、大きな大会には使用できないのが現状である。新たに可動式の観覧席を設置できないか。

答 利用者や観客が多い場合は、折り畳み椅子を並べることや指定管理者と協議し、ランニングコースの利用を中止し、臨時観覧スペースを設けることも考えている。

ふるさと門真まつりの警備について

解消に取り組んでいく。

幸福町・垣内町のまちづくりについて

問 幸福町・垣内町のまちづくりの課題である権利者交渉に対する対応は。

答 権利者への働きかけ不足等があったため、事業組合へ事務局の体制強化を要望したことで、専属の担当者が配置され、市が主導的に交渉をし、難航していた権利者の理解を得られた。

4月の権利者説明会で組合の役割や将来のまちのイメージを説明し、事業区域確定に向け、改めて権利者への聞き取りを進め、スケジュールなど事業計画を総会で示すことを理解してもらった。現在、権利者へ聞き取りを進めている。

問 10年ぶりに復活するふるさと門真まつりの警備について、どのように考えているのか。

答 駐輪場には、多くの人員を配置するなど、工夫を凝らし万全の体制で安全対策を講じられるよう検討中である。警備人員は約100人を予定し、不測の事態に備え、警察官の配備も依頼している。

門真市民プラザ内のプールの活用について

問 門真市民プラザ内のプールを釣り堀として活用できないか。

答 10年以上使用していないため、調査の必要がある。また、利用可能であれば、補修や安全設備の設置等改修が必要と見込まれるため、今後、指定管理者と研究していく。



福田 英彦
(日本共産党)

中町地区のマンション建設に対する約4億円の助成金支出の無駄遣いについて

問 これまでいったいどのような協議を国・府と行ってきたのか。

また、土地が2回転売され、建替えるべき建物は既になかった旧トボス(ダイエー)跡地に建設されたマンションが、ほんとうに助成金の対象になるのか。

答 27年1月に設計費に係る交付金の要望を行い、同年4月9日に交付申請し、同日付で交付決定を受けている。国の交付決定や承認



堀尾 晴真
(日本共産党)

国保の一部負担金減免の拡充について

問 恒常的低所得者も減免対象とするなど拡充の考えは。

答 新たな財政負担となり、累積赤字を抱える現状では困難である。

生活保護の介護扶助費について

問 資格を持ったケアマネが作成した生活保護受給者のケアプランをなぜ保護総務課が点検するのか。

答 平成23年3月31日付、厚労省保護課長通知では「不正又は不適切な介護サービス提供がなされて

を受けていることから、市は要綱に基づき助成対象とした。

幸福町・垣内町地区の地権者等への説明会で2年半の事業遅延を説明しなかったことについて

問 3月議会中で中迫副市長は「事業スケジュール等の説明は必要と認識している」と答弁したが、それ以降どのような経過で議会の答弁を踏みにじったのか。

答 権利者説明会の開催に向け、4月に市と組合事務局が説明内容を協議した結果、事業区域の確定に向け、改めて権利者の聞き取りを進め、早期に総会を開催し、事業区域やスケジュール等の事業計画を示すこととしたため、スケジュールの遅れについて説明する必要はないと市として判断した。

いないか確認すること」となっているため、業務を委託している職能団体において確認作業を実施し、適正化に努めている。

問 生活保護受給者が福祉用具購入や住宅改修する場合、3者見積もりで一番安い業者に決定しているが、これは生活保護法、介護保険法にも明記されていない独自運用であるため、見直すべきでは。

答 介護サービスを受けるに当たっては、必要な量のサービスを受けてもらうのが大前提と考える。しかし、生活保護制度では「基準額の範囲内において必要最小限度の額とすること」となっているため、3者見積もりをお願いしている。利用者への一定の負担は認識しているが、丁寧に説明していく中で、適正な実施に努めていく。



亀井 淳
(日本共産党)

児童・生徒を対象とした朝食提供への支援について

問 朝食をとることができない子どもへ地域の人が朝食を提供する取り組みに学校施設を活用できないか。また、市の支援は。

答 既存の学校施設の活用は、衛生面やセキュリティ面から課題が多いと考えており、関係部局と調査・研究していきたい。

今後は、優先的に推進すべき事業の選択をし、財政面を含む効果的な支援方法の構築等を関係部署や支援機関等と協議していきたい。



土山 重樹
(自由民主党)

市長就任約1年の所感について

問 市長就任後、約1年になるが、現時点での感想と今後への思いは。

答 本市は若い職員が多く活気がある一方、世代交代による事務継承の難しさを感じることから、世代をつなぐ存在の課長補佐級全員と順次懇談を行っている。また、29年度当初予算では、安心して子育てできる環境づくりへの第一歩が踏み出せた。

今後は、人口減少による財政への影響が危惧されるので、バランスのとれた人口構成に寄与する施

公文書管理条例の制定について

問 国政で加計学園・森友学園疑惑や陸上自衛隊の日報隠ぺい問題等、公文書のあり方が問われているが、条例制定の考えはないのか。

答 公文書は市民共有の知的財産であるため、市民による文書管理をより一層実現するには、条例で規定することが望ましいと考える。しかし、現在、公文書等の管理に関する法律の改正案が国会に提出されているため、国の動向を注視し、情報収集に努める。

問 保存年限の超えた公文書をマイクロフィルムなどにして保存する当面のスペースはあるのか。

答 公文書を保存する書庫のスペースは、十分に確保できている。

策が必要と感じている。

2025年問題について

問 同問題は市政全般に影響を及ぼすため、全庁的に横断するプロジェクトチームをつくり対処していく必要があると思うが、見解は。

答 同問題は全庁での情報共有等が必要不可欠と考え、4月の機構改革では、福祉政策課に政策的機能を位置づけ、企画財政部が他部にまたがる課題や連携等について調整するための体制整備を行った。また、第7期高齢者保健福祉計画策定に向け、全庁的議論を踏まえる必要がある。今後は、財政状況、同問題に係る独自課題等について、全庁で一層認識を共有して対応できるよう取り組んでいきたい。



大倉 基文
(緑風クラブ)

市内企業との連携について

問 パナソニックや東和薬品などの市を代表する企業と積極的にタイアップし、PRすることや強い協力関係を築くことは重要であると考えてるが、市の考えは。

答 地域の企業としてともに発展してきた歴史や企業のブランド力等を本市の魅力の一つとして捉え、企業とタイアップし、PRする意義は大きい。また、市と連携することで企業にもメリットを感じてもらうなど、強い協力関係を築くことも肝要である。これらの観点

を踏まえ、多くの市内企業と積極的にかかわりながら、市と企業の成長・発展につながる連携について、鋭意取り組んでいきたい。

地域会議の周知について

問 地域会議の今後の周知方法は。

答 各種広報媒体の活用や地域会議が各種イベントに参加した際の周知など、あらゆる機会を捉えたさらなる周知方法を検討したい。

プロジェクトチームについて

問 課を越えて目的を達成するためにプロジェクトチームをつくることは有益だと考えるが、認識は。

答 有効な手段と認識しており、全庁一丸で取り組むべき課題については、積極的に議論できる場を設置し、課題解決を図りたい。



池田 治子
(自由民主党)

受動喫煙対策について

問 路上喫煙対策のための条例制定に対する市の認識は。

答 同条例の早期制定に向け鋭意取り組んでいきたいと考えている。

老人クラブへの支援について

問 老人クラブ連合会への補助金についての市の考えは。

答 28年度は市から補助金として747万円(このうち、3分の2は府の補助金)を交付しているが、今後も市長会を通じて府の補助金の拡充等を要望していく。

トイレの洋式化について

問 他市で見られる小・中学校のトイレ洋式化改修を本市でも早急に望む声を聞くが、市の考えは。

答 29年4月の洋式化率は、市内小・中学校全体で43・4%である。トイレの老朽化も進んでいるため、抜本的な改修とあわせ洋式化する必要性が高いと考えている。

文化財の保存について

問 国の天然記念物である薫蓋樟の保存の考えは。

答 薫蓋樟保存会とともに、貴重な薫蓋樟を次世代へ確実につなげられるよう情報共有し、保存に努めたい。



三島神社にある薫蓋樟



森 博孝
(無所属)

こども医療助成事業のアピール方法について

問 29年10月から、医療助成の対象が入通院とも高校生(18歳)までに拡充されるが、魅力ある施策として市内外へ周知するべきでは。

答 29年8月ごろに対象者へ申請書及び詳細な説明書を送付し、9月末までに該当者に医療証を交付することで、改めて周知を図る。また、ホームページや広報かどま等への掲載とともに、市内の医療機関でのポスター掲示を依頼する。



後藤 太平
(公明党)

子どもの貧困について

問 貧困の連鎖をいかに食い止めるかが重要だが、今後の支援策は。

答 子どもの未来応援ネットワーク事業を実施する中で、庁内連携をさらに強化し、関係支援機関等との関係性の再構築を図りつつ、子どもや保護者へ最適な支援ができるよう取り組みを進めたい。

介護保険を取り巻く今後の環境について

問 くすのき広域連合構成3市が各市の特性に合った事業を推進し

さらに、関係部署と連携し、J・COMなどを含め、あらゆる発信媒体を活用し、ほかの魅力ある施策とともにアピールしていきたい。

国民年金付加年金制度について

問 同制度の概要は。

答 同制度は、老齢年金の受給額をふやすため、定額保険料に付加保険料400円を上乗せして納めることで、200円×付加保険料を納めた月数の額が年金額に加算されるものである。

例えば120カ月月納付した場合、2万4000円が加算額となり、受給後2年を超えると納めた付加保険料分を超え、それ以降はプラスとなる。なお、年金額の改定が行われた場合でも、付加年金加算額は改定されない。

たくても、3市共通の課題にしか対応できないことは、高齢者のニーズに応えられないと考えるが、今後どのように対応するのか。

答 構成3市で取り組む内容が異なる場合、本部と各支所の業務分担や費用負担等の課題が予想されるが、本市としては、引き続き同広域連合との連携を密にし、今後の課題等に対応したいと考える。

今後の地域会議について

問 今後の地域会議のあり方は。

答 第五及び第三中学校区地域会議には、必要な支援を行いながら活動状況の検証を行う。また、その他の地域においても各団体の地域活動の現状把握に努め、それぞれの地域の実情に応じた地域会議のあり方を検討していきたい。



戸田 久和
(無所属)

市住不法占有・住所不正男Aの署名集めに協力の市長責任について

問 Aと宮本市長と緑風クラブの大倉議員の3者は、ともに門真青年会議所及び「朝起会」の仲間で大倉議員は宮本市長と長年の友人で宮本市長誕生に尽力し、Aは大倉議員の市議当選に努力した長年の支援者であり、宮本市長誕生を支持したと思うが、どうか？

答 A氏とは青年会議所OBの一人として面識があり、朝起会では2カ月に1回程度顔を合わせるぐ



豊北 裕子
(日本共産党)

施設・設備を改善し高齢者福祉の向上を

問 北河内における2025年の高齢化率は30・8%と推定され、年をとっても安心して住み続けられる施策が求められている。

答 高齢者の健康の保持増進、教養の向上、レクリエーション等のための施設である老人福祉センターでは、破損し使用不可となった机や椅子が多数あり、また、健康器具のヘルストロンは4台中2台が老朽化している。さらに地域高齢者交流サロンでは、駐輪場の屋根

らいで市長選では一後援者として支援してもらった。大倉議員とは青年会議所の先輩後輩の間柄であり、市長選では尽力してもらった。

問 Aが市営新橋住宅居室の水道を2年以上前から停止していたことが判明した段階で「市営住宅不法占有」「居住実態がない場所に住民登録している」等々と判断すべきだと宮本市長は思わないのか？本来入居できた市民が排除されてきた責任をどう考えるか？

答 市長として関係課に適正な事務遂行を指示している。また居住の自由は憲法で保障された基本的人権の一つである。A氏は一人であり、学校ボランティア等に熱心に取り組んできた人で行き過ぎた表現は失礼きわまりないものだと思う。



が設置されていないため、雨の日は利用しにくいとの声もある。

これらの状況を踏まえ、人気の通信カラオケを老人福祉センター以外でも導入するなど施設やその設備を改善し、向上させていく必要があると考えるが、市の認識は。

答 施設・設備を充実することが満足度の向上につながることは認識しているが、予算も限られており、全ての要望に応えることは困難であるため、安全性や緊急性の高いものから優先的に対応したい。

問 高齢者施策の向上に対する市の役割をどう考えているのか。

答 29年度に策定予定の第7期高齢者保健福祉計画の策定過程での議論を踏まえつつ、引き続き、元気で長生きのまち・門真を目指し、市の役割を果たしていきたい。

■市政に対する一般質問の要旨(通告順)

岡本 宗城（公明党）

1 シティプロモーションについて

(1) 人口減少に対応する視点について

(2) 定住促進の戦略について

2 大阪モノレール南伸について

(1) 門真市駅と門真南駅の間地点への新駅設置について

松本 京子（公明党）

1 認知症施策について

(1) 認知症初期集中支援チームについて

(2) 認知症の早期発見について

2 門真市の魅力発信について

(1) ホームページのスマホ版導入について

(2) SNS活用について

(3) マンホールカードについて

3 就学援助について

(1) 就学援助の現状と課題について

(2) 新入学用品費の3月支給について

春田 清子（公明党）

1 マイナンバーカードについて

(1) マイナンバーカードの推進について

(2) カードの申請機能つき証明写真機の設置について

(3) カードの行政サービスにおける利用について

2 ボランティアポイント制度について

(1) ボランティアポイント制度のさらなる推進について

(2) ポイントの付与方法と付与基準について

3 市立総合体育館について

(1) 現在までの利用状況について

(2) スポーツ以外での利用について

高橋 嘉子（公明党）

1 待機児童解消について

(1) 新計画「子育て安心プラン」について

(2) 「改正都市公園法」について

(3) 待機児童解消に向けての取り組みについて

2 学校教員の働き方改革について

(1) 多くの教員が過重労働に陥っている実態について

(2) 「チーム学校」の考え方について

(3) 学校教員の働き方改革について

内海 武寿（公明党）

1 安心・安全な市民の暮らしについて

(1) 特殊詐欺等被害防止機器の貸与について

(2) 特殊詐欺防止の啓発や意識づけについて

(3) 判断力の低い人への特殊詐欺防止について

2 未利用市有地の有効活用について

(1) 旧青少年活動センター跡地について

(2) 公園と一体とした売却について

3 英語教育推進事業について

(1) 公立小学校英語学習6カ年プログラム「DREAM」について

(2) 「DREAM」の今後の活用について

武田 朋久（公明党）

1 高齢者施策の拡充について

(1) 一般高齢者施策の方向性について

(2) 安全確保について

(3) 補聴器について

2 子どもの貧困対策について

(1) 各種アンケート調査関連について

(2) 今後の取り組みについて

3 防犯カメラの設置について

(1) 防犯カメラの設置状況等について

(2) 今後の見通しについて

4 本市の行政ロイヤーについて

(1) 設置して以降の状況について

(2) 今後の方向性について

今田 哲哉（緑風クラブ）

1 職員数について

(1) 職員の基本定数について

(2) 今後の職員の採用について

2 幸福町・垣内町のまちづくりについて

五味 聖二（緑風クラブ）

1 新総合体育館の各問題点について

(1) 観覧席のあり方について

(2) 六中運動場との境界部分について

(3) その他問題点について

2 ふるさと門真まつりについて

(1) 警備等について

(2) 近隣住宅等への迷惑防止について

(3) その他想定される問題点について

3 市民プラザ内のプールの活用について

(1) 釣り堀への活用について

福田 英彦（日本共産党）

1 中町地区のマンション建設に対する約4億円の助成金支出の無駄遣いについて

(1) 旧トボス跡地の経過について

(2) 木造賃貸住宅等建替事業助成金交付要綱に基づかない助成金支出について

(3) 国・大阪府との協議内容等について

2 幸福町・垣内町地区のまちづくりについて

(1) 施設配置イメージ案策定の経過について

(2) 地権者等への説明会で2年半の事業遅延について説明しなかったことについて

3 空家等対策計画について

(1) 本市の空き家等実態調査結果の概要と分析について

(2) 日弁連の実態調査結果の概要と分析の認識について

(3) 課題等の認識と計画策定までの検討内容について

堀尾 晴真（日本共産党）

1 国保の一部負担金減免の拡充について

(1) 一部負担金減免の実績について

(2) 恒常的低所得者に対して一部負担金減免の対象にすることについて

2 生活保護の介護扶助費について

(1) ケアマネが策定したケアプランを保護総務課がチェックしていることについて

(2) 福祉用具、住宅改修の三者見積もりで一律に一番安い業者に決定していることについて

亀井 淳（日本共産党）

1 児童・生徒を対象とした朝食の提供に対する支援について

(1) 他市に比べて朝食を食べている児童・生徒が少ないことについて

(2) 小・中学校内の調理施設やランチルームの活用について

(3) 財政などの支援について

2 公文書管理条例の制定について

(1) 公文書管理条例制定についての市の考え方について

(2) 部や課によって異なる公文書の扱いを改めていくことについて

土山 重樹（自由民主党）

1 市政運営について

(1) 市長就任約1年の所感について

2 魅力発信について

(1) 今後の考え方について

3 2025年問題について

(1) 市の考え方について

大倉 基文（緑風クラブ）

1 市内企業との連携について

(1) パナソニック、東和薬品等市内を代表する企業との連携について

2 地域会議について

(1) 現在の状況について

(2) 各地域会議の現状について

(3) これからの地域会議について

3 プロジェクトチームについて

(1) 重要施策について市役所各課を越えて協力し、目的を達成するためにプロジェクトチームをつくることについて

池田 治子（自由民主党）

1 受動喫煙対策について

(1) 受動喫煙による健康への影響について

(2) 路上喫煙の制限について

2 老人クラブの活動支援について

(1) 老人クラブの会員数、クラブ数、活動内容について

(2) 補助金の負担割合について

(3) 市の支援の具体的内容について

3 小・中学校のトイレの洋式化について

(1) 小・中学校のトイレの洋式化率の状況について

(2) 今後の洋式化に対する市の考えについて

4 薫蓋樟など文化財の保存について

(1) 文化財保存についての市の考えについて

(2) 国指定の天然記念物である薫蓋樟の保存について

森 博孝（無所属）

1 門真市重点施策のアピールについて

(1) こども医療助成事業のアピール方法について

2 国民年金について

(1) 門真市の加入状況について

(2) 付加年金制度の周知について

後藤 太平（公明党）

1 子どもの貧困について

(1) 子どもの貧困と社会的損失についての市の見解について

(2) 「子どもの生活に関する実態調査」から見えてきた課題について

(3) 今後の支援について

2 今後の介護保険を取り巻く環境について

(1) 新総合事業においての本市の役割について

(2) 今後の見通しについて

3 地域会議について

(1) その後の話し合いの状況について

(2) 五中・三中学校区の要望をいかに受けとめているかについて

(3) 今後の地域会議について

戸田 久和（無所属）

1 幣原喜重郎を敬愛する門真市民が企画した「九条への生還」ニューヨーク上演ロケへの市の協賛や報道について

2 「府営住宅の市移管」ならば、「公共住宅の新たな理念」を持つべきことについて

3 市が裁判当事者になった場合の議員や市民への対応について

4 上下水道局による市住不法占有者Aに対する調査拒否について

5 まちづくり部が新橋市営住宅不法占有者Aの実態について議員への虚偽答弁や情報隠しを重ねたことについて

6 市長が市住不法占有・住所不正男Aの署名集めに協力したことの責任について

豊北 裕子（日本共産党）

1 高齢者施策の向上について

(1) 高齢者の健康や文化・交流を深める施設について

(2) 施設の安全管理について

(3) 高齢者福祉の向上と施設・設備の充実について

(4) 市の役割について

第2回定例会で審議された案件と議決結果			会派名		公 明 党							自由民主党				日本共産党				緑風クラブ				無所属	無所属	議決結果
			議員名		松本京子	後藤 太平	武田 朋久	岡本 宗城	内海 武寿	高橋 嘉子	春田 清子	池田 治子	土山 重樹	佐藤 親太	中道 茂	堀尾 晴真	豊北 裕子	福田 英彦	亀井 淳	大倉 基文	五味 聖二	今田 哲哉	吉水 丈晴	森 博孝	戸田 久和	
議案番号		議案名																								
報 告	報告第2号	平成28年度門真市一般会計繰越明許費繰越計算書について			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第3号	平成28年度門真市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第4号	平成28年度門真市水道事業会計予算繰越計算書について			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第5号	平成28年度門真市水道事業会計継続費繰越計算書について			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
専決処分	承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条 例	議案第32号	門真市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第33号	一般職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第34号	門真市税条例等の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第35号	門真市営住宅条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	可決
補正予算	議案第36号	平成29年度門真市一般会計補正予算（第2号）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	可決
人事案件	議案第37号	固定資産評価審査委員会委員の選任について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第38号	人権擁護委員候補者の推薦について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第39号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第40号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第41号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第42号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第43号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第44号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第45号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第46号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第47号	農業委員会委員の任命について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議 案	議員提出議案第5号	「2025日本万国博覧会」の大阪誘致に対する決議			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	可決
	議員提出議案第6号	看護職員の事務作業の効率化のための制度改善を求める意見書			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議 会 活 動 日 誌（平成29年6月1日～7月31日）

- 6・2

議会運営委員会

9

本会議（第2回定例会開会）

12

総務建設常任委員会

13

民生常任委員会

14

文教こども常任委員会

15

議会運営委員会

21

本会議

22

本会議（第2回定例会閉会）
- 7・4

守口市門真市消防組合議会臨時会

くすのき広域連合議会臨時会

全国市議会議長会社会文教委員会

10

淀川左岸治水促進期成同盟総会

19

河北市議会議長会

21

飯盛霊園組合議会定例会

25～26

東部大阪治水対策促進議会協議会他都市視察

28

後期高齢者医療広域連合議会臨時会

大阪中央環状モノレール建設促進議会協議会

府内視察